

橫濱和生所寫自  
護利局云

山口左七郎殿

定牙

急



平信

秋頃日方頃の  
意以壯健の  
少候方後休  
此中平信  
女子出生  
心其一回  
以敬致  
少候方

一子前  
候方  
此中  
女子  
出生  
心其  
一回  
以敬  
致少  
候方



と妙なる

一と新種を思ふ所なり

思ふは是れ心あり

ねたは日曜より十日

はた

一茶の持付を思ふ

茶料よりちねの持付

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶

思ふは送り下せる茶



手紙の紙

三浦の紙

取入金銀の紙

一治神田宮の紙

光寺の紙

ナリヤの紙  
官製文

山口左の紙

多一中紙の紙  
一山と高寺の紙  
果の紙

子成

十月十日午未の紙

大徳部  
上紙

